

# 「わがまち再発見！」

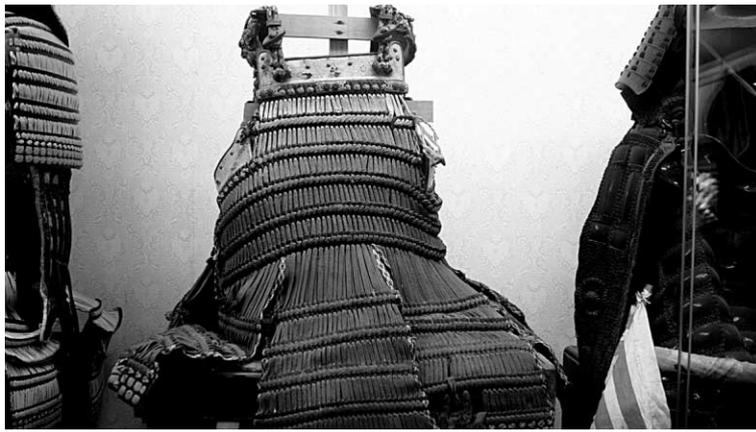
シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

## 対馬の武具

江戸時代、対馬藩の正月行事の1つに武具揃があり、家中の侍が自慢の鎧兜を城で披露したそうです。鎧兜は武士にとって武威を張る表道具ですから、大事に取扱い小さな補修をおこなうのも武士の嗜の1つとされてきました。



紫裾濃系緘胴丸

鎧兜は甲冑ともいい、時代により名称が変わってきます。3世紀後半から7世紀末の古墳時代は朝鮮半島から持ち込まれた短甲と挂甲が主流でした。日本の甲冑に影響をあたえたのは挂甲で平安時代中期(10世紀)に鎧の初期的な様式がほぼ確立されます。

甲冑には大鎧、胴丸、腹巻、腹当、

当世具足があり、鎧と言えるのは大鎧だけで、式正の鎧あるいは着背長とも言われています。大鎧は箱型の形をした騎馬向きの鎧で鎮西八郎源為朝とが源義経の時代に用いられました。胴丸、腹巻、腹当は下級武士が着用するものでしたが、戦場での動きが容易なもので次第に大將軍も使用するようになってきました。

甲冑は鉄だけで作られたわけではなく、革が多く用いられていました。鎧を構成するのは小札といって幅4cm、長さ7cm、5cmの鉄あるいは革の小片です。この小札をうろこ状に重ね革紐で綴り漆を塗って横板をつくり、横板を更に縦に綴り鎧が出来上がりります。日本の鎧が世界に類のない華麗な

武具として知られているのは、さまざまな色に染めた絹紐、革紐で小札板を緘した結果です。

当世具足とは16世紀日本に鉄砲が普及した結果、従来の甲冑では防御が不十分だったので、新たに防御を充実し鉄砲に対した甲冑のことです。

織田信長の時代から江戸末期まで用いられた甲冑で種類も豊富です。

対馬では多くの当世具足が先祖の魂が入った武具として大事にされています。

しかし昭和40年、50年代のオイルショックでかなりの当世具足が島外に流出したようです。

赤糸緘、萌黄糸緘、浅黄糸緘、仏胴、桶側胴、5枚胴などの具足が桐の具足櫃に納められ、魂がこめられた武具として旅の者(部落以外の者、見知らぬ者)はなかなか見ることが出来ませんでした。現在では神社の宝物館、市の民俗資料館で見ることができます。幸いにも一級品といえる資料がありますので紹介します。

大鎧 海神社の伝世品で長崎県で

も唯一の大鎧。ただ鎧は大破し金属部のみが残る。鎧に添う兜は古形を保っており、鉄28間筋兜鉢。製作時代は南北朝末期14世紀末)

胴丸 厳原八幡宮の伝世品で大宰小式藤氏寄進と伝えられている。胴丸は紫裾濃系緘、大袖と鉄漆塗阿古陀形覆輪筋兜を添える。

胴丸の緘毛と兜の鍔は江戸時代の補修。製作時代は室町後期15世紀後半(16世紀初頭)

当世具足 厳原町郷土館に展示。紺糸緘5枚胴具足で精巧な製作である。兜ほかすべて皆具。軽量化を計るため革札を使用。江戸後期

62間小星兜 厳原町郷土館に展示。家宝として大事にされていたのである。漆の塗り直しが行われている。室町末期(16世紀中)

対馬では全島的な武具の調査は行っていない。また貴重な資料が埋もれている可能性が充分にありますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 人権教育総合推進地域事業本発表会 (協力校)佐護小中学校にて開催!

対馬市では、平成18年度～平成20年度の3年間文部科学省の研究指定を受け、『いつでも・だれでも・どこでもできる人権教育をめざして』をテーマに、「人権教育総合推進地域事業」を進めてまいりました。推進協力校である佐護小中学校では、子どもたちの人権感覚だけでなく地域の人権感覚を育むために、「お互いに認め合い、高め合う学校・学級集団づくり」を研究主題に掲げ、学校と地域・保護者の連携・融合を中心に実践してきました。その研究・実践の成果を下記により公開いたします。



日 時：平成21年1月30日（金）9：50～16：20

場 所：対馬市立佐護小中学校

人権講演会：演題『あなたはあなたでいいの～まなざしを変えると見えてくるもの～』  
童話詩人・金子みすゞ記念館館長 矢崎節夫 氏

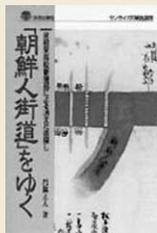
### 1月に入った本の紹介!

つしま図書館 0920(52)3900

#### 『「朝鮮人街道」をゆく』

門脇 正人 / 著 淡海文庫・サンライズ印刷出版社

江戸時代、朝鮮通信使がたどった近江の約40kmの道を「朝鮮人街道」と呼ぶ。  
彦根東高校新聞部が克明に調べたかつての道筋を解明。



#### 『現役合格の時間割作戦2010年版』

富山 義昭 / 著 エール出版社

いかにムダなく受験科目を攻略するか。  
ライバルに差をつける効果的な学習法、直前の成績をグングン伸ばす秘策などを伝授する。



#### 『日本で「一番いい」学校』

金子 郁容 / 著 岩波書店

不信心と不満が広がっている公立学校。いい学校作りに必要なことは？  
コミュニティスクールや学力テストの結果をどう活用するか。豊富な事例をもとに検証・提案する。



#### 『しっばいにかんぱい!』

宮川 ひろ / 著 童心社

小学校のリレーで失敗をしまったおねえちゃん、朝ごはんも食べられないくらい落ちこんでいた。達也は心配でたまりません。だいじょうぶ、失敗するのも大切な事。



#### 『くいしんぼうなおばけ』

日本児童文芸家協会 / 著 ポプラ社

さびしがりや、おせつかいやき、よわむし、まじめ、うそつき、なぞなぞずき...  
読めば見つかる、あなたにピッタリなおばけ! 人気作家7人が書いた7つのおばけのお話。



#### 『よしおくんがぎゅうにゅうをこぼしてしまったおはなし』

及川 賢治 / 著 岩崎書店

チョコレートパンを食べた牛乳を飲んでいたよしおくんは、牛乳瓶をたおしてしまいました。こぼれた牛乳は勢いを増してあちこちを飛び回り、よしおくんはあつという間に家の外に流されてしまった。牛乳の世界を旅するよしおくんのはなし。

